又産業文部の解産を写く時に事件はすべて昨年末に発生して居るにもかゝわらず
結果は繁忙の絡つた八月に発表されて居る由こをした義首に復する罪人を伝
に十日古山氏の貴重を郵荷物を取扱しめたために大きな疑を持たねばならぬ。
の一案を見ても如何に局幹部吾逸信局に計畫的に是の識首を行つたかを知ることが出来る。　計畫的な組合破かイ策である以上我は主として是の解産問題
の机年を続けねばならぬ。
然れ同志よ、我々事務行為のみならず局務方針に於ても誤りなかれ何にも
かぬい様な事を言つて居る局幹部は大局の方針が組合破かイ主義であるい
彼等が断ずこをした強奪をつのかいと努力して居るのだ
共の好例にしては従業員会員の主は未組織地帯を利用して幾多の悪力を
起されて居るのは皆彼等の切なる組合破かイ策であることを知
ねばならぬ。　やる故に我々は未解産問題に関しても振殘き同志の斗争
自覚を切望する者である

共済部報告　　共済部長大塚鎌太郎

一金二十二銭八十五銭也
右同志の「遠慶」額に当り各位の賛助を得て同氏に贈る
（尚取集部有志の努力を深謝す）
六、一、十三　第四一一　函館同志会事務局　五子　責任者　岡山子

6. 1 18

労秘第九四号
昭和六年一月十五日

警視總監　丸山鶴吉殿

内務大臣　安達謙蔵殿
社會局長官殿

千住吾妻汽船株式會社、千住機船會社ノ労働爭議ニ
関スル件

要旨ノ会社ハ全国運輸ヨリ事業休止ニ伴ヒ全員解雇ヲ申渡シタル為組合側ハ事業
継続ヲ数強ニテ交渉中

一、爭議發生ノ場所　東京市浅草区鴻巣町四〇標記會社
二、事業主側
名称　千住吾妻汽船株式会社、千住機船會社
代表者　社長　小倉房蔵

一、一三　一、一六

発生　一、一三　解決　一、一六
使用労働者　四人
爭議参加者
関係労働組合　関西同志会